

# ふるさと雇用再生特別基金事業事例集

平成21年9月

厚生労働省職業安定局  
地域雇用対策室

事例紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業  
【産業振興分野】

北秋田市を儲かる地域にするため、私達は立ち上りました。地元事業者とのパートナー関係を構築し販売を行い共栄する。産業界にとって今必要なのは、成功事例であると確信しています。私どもはその魁としてこの試みをどのような苦難や試練があっても必ず成功させなければならないと決意を新たにしています。



北秋田名物株式会社  
代表取締役  
野宮 幸博さん

事業概要	地域ブランドを総合プロデュースする会社を設立し、地域ブランド商品の創出及び、販売も行う。又、街づくり事業として市の振興の一翼を担う。		
委託先	北秋田名物株式会社	新たな雇用創出数	11人
事業費	3125万円(平成21年度)	事業の開始	平成21年7月～

秋田県



地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.29倍(季節調整値)  
北秋田市管内 0.29倍(原数値)

業務内容	公益性 五分野	新たな株式会社の創業
		ホームページ開設支援
		地元商業者の販売支援
		観光案内施設「べ」の運営
		企画・コンサルタント・商品開発支援
地域ブランドの創出による北秋田のPR		



《北秋田名物株式会社を創業した6人》

観光コンシェルジュの皆さん

北秋田市の素晴らしい体験滞在型観光商品を、訪れる観光客にワンストップで紹介する「観光案内サービス」を提供し、広く北秋田市の観光をPR致します。



観光コンシェルジュ

情報部、営業部、総務部

創業者たちからの声

眠っている観光ブランドを掘り起こして全国に北秋田を発信し儲かる地域づくりに貢献して欲しい。

今後の姿

この会社が3年後、立派に機能し、私たちが幼少の頃の活気をこの北秋田市に取り戻す事が最大の目標です。



「儲かる地域」と新たな販わいの創出を目指して！



コンシェルジュ一同  
猛勉強中です。  
お待ちしております。  
観光の提案いたします。  
感動を伝えます。  
ご当地キャラクター作成中。  
外国からいらしても大丈夫です。



就業のための日本語習得事業【三重県】

事業紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業  
【教育・文化分野】

昨年からの経済の悪化で失業し、再就職を望む在住外国人から日本語学習の希望の声が多く寄せられていました。日本語だけでなく日本の習慣、常識、ルールなどを知らないまま、長年日本に暮らしている人がいます。外国人にとっても、日本語学習の機会ができたことは重要ですが社会の隣人として向き合う、日本人にとっても大事な事業を行うことができたと思います。



NPO法人愛伝舎  
理事長 坂本久美子さん

事業概要

就労のための専門的な技術習得や介護技術の習得等に必要な基本的な日本語能力を外国人労働者に身につけてもらうため、日本語講師を雇用し、日本語教室を開催する。

委託先

NPO法人愛伝舎（2005年設立）  
所在地：三重県鈴鹿市、従業員数：6名

新たな  
雇用者数

2名

事業費

約859万円（平成21年度）

事業開始

平成21年6月～

事業内容

日本語能力が十分でない外国人に対して就労のための日本語の講義を行うとともに、受講終了後の就労に向けた支援等を行う。



三重県

授業の様子



**ポイント!**  
日系人が多く住む団地の公民館を活用して授業を行っています。

地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

- 三重県 0.39倍  
(季調値)
- 鈴鹿管内 0.26倍  
(原数値)

日本語教師のみなさん



日本語教師 大津さん  
日本語教師 坂井さん

私も日系人で、日本に来てから日本語を学びました。日本語の文法の難しさはよく分かるので、ポルトガル語で日本語がまだよく分からない生徒さんに説明したいと思います。毎週の授業で、生徒さんが上達しているのを実感できて嬉しいです。

受講生さん達が、日本で仕事をして生活できるようになることが私たちの願いです。外国籍の方々が少しでも生活しやすくなれば、と思っています。



受講生 シモネさん

始めたときは、日本語が何も出来ませんでした。今は、平仮名、カタカナはほぼできます。自分のためにもっと勉強したいと思っています。

この学ぶチャンスをととてもありがたいと思っています。就職するチャンスも大きくて、もっと自信を持ってやっていけると思います。



受講生 リリさん

受講生のみなさん



この教科書とノートを使って、日本語を勉強しています!!

今後の抱負（坂本理事長）

外国人の日本語学習の意欲は、たいへん高くなっていると思います。日本で暮らしていく上で、日本語ができるということは自立して暮らす第一歩ですし、職業や生活の場面に合わせた授業を行うなどこれからも日本語教室の運営を進めていきたいと思っています。

事例紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業  
【産業振興分野】

豊かな自然環境や地域資源を有する但馬・丹波・淡路地域でのコミュニティ・ビジネス(以下、CB)等の起業・就業を促すため、起業・就業支援のノウハウを持つ中間支援組織を活用し、同地域でのCBの啓発・指導を行っています。

兵庫県



事業概要

但馬、丹波、淡路地域で、コミュニティビジネス(CB)啓発・指導等を行い、多様なCBの創出を図る。

委託先

・宝塚NPOセンター  
・コミュニティ・サポートセンター神戸  
・シーズ加古川

新たな  
雇用創出数

7人

地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の  
有効求人倍率)

兵庫県0.47倍  
(季節調整値)

事業費

16,997千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

業務内容

ふるさとCB指導員により、但馬・丹波・淡路地域でのCB起業を希望する団体等に起業実践例等を啓発・指導する。

失業者等を雇用しようとする但馬、丹波、淡路地域のCB団体等の掘り起こしを行う。

但馬、丹波、淡路地域のCB団体等と都市部の団体との協働による都市農村交流事業を実施する。



丹波地域ふるさとCB指導員と  
事業スタッフ一同

ふるさとCB  
指導員の声

ふるさとCB創出支援事業に携わって、但馬地域の多くの人々と出会い、NPO法人等のCB起業に対する熱い思いをひしひしと感じています。一日も早くCB団体の設立が具体化し、活動を開始されることを楽しみにしています。

初めて、法人設立の書類作成に加わり、楽しくできたので、自分には向いていると思いました。



指導員：芦田さん

相談を通じてまちの課題が明確になり、相談者は仲間と新しい組織(NPO法人)を作ることを決意されました。支援した成果が形となって現れることに非常に喜びややりがいを感じています。



指導員：榎本さん



NPO法人の設立に関する相談を受けていた団体が平成22年1月にはNPO法人として認証される見通しとなり、関係者の皆さんと喜びを分かち合いました。

NPO法人の設立認証申請書類を作成中



まちづくりに向けたCB起業相談

今後の姿  
と課題

◎但馬地域に多くのCB団体が生まれることで、雇用が生まれ、地域の活性化に繋がることを期待し、同地域にCB支援の拠点となる中間支援組織を設立することを目標としています。

◎ふるさとCB指導員の両名は、地元関係者との繋がりを大切に、粘り強く相談に応じています。CBの普及・啓発や起業支援に向けて活躍されることを期待しています。

〔 特定非営利活動法人  
宝塚NPOセンター 吹曾さん 〕

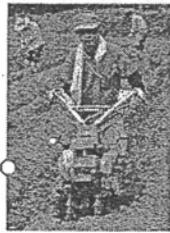
ふるさとCB  
指導員の声

CBにより丹波地域が元気になるよう起業支援や普及啓発活動を行っています。また、同地域の特産物を活用したCBの安定的な運営をサポートするために阪神間への流通ルートの確立にも取り組み、都市と農村が交流できるしくみづくりにも力を入れています。



指導員：  
和田 聖士 さん

住宅の中に少しでも兵庫県産の木材が使われるような地産地消の運動を広げていきたいと思っています。



指導員：  
大谷 敏行 さん

丹波地区の農産物のうち特にB級品を阪神地区で購入・利用できるような仕組みを支援したいと考えています。



指導員：  
臼井 隆夫 さん

阪神間の援農市民団体が行う環境創造型農業による特産品づくりや販売支援等を行っています。

今後の姿と  
課題

○丹波地域を盛り立てられるよう地域の方々と手を携え、解決の道を模索しています。特産品を多く持つ地域の特性を活かして、CBによる「ひょうごの食・森」のブランドを再生することが最大の課題と考えています。

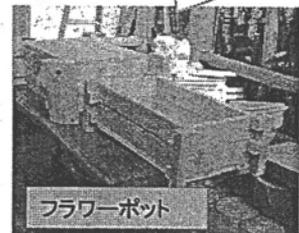
○ CBの推進によって都市と農村の交流がますます深まり、丹波地域の活性化に役立つことを期待しています。

○ 学生や多くのボランティアの方の参加をいただきながら、多方面からの交流事業として活性化していきます。

○ 丹波地域のあらゆる資源を活用したCBの創出に力を発揮してもらいたいと思います。

特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 国枝さん

間伐材を使った商品の  
販路開拓支援をスタート！



フラワーポット

ふるさとCB  
指導員の声

CBは、地域のニーズや課題を住民が主体となってビジネスの手法により解決する地域の事業です。CBの成功により地域の活性化に繋がられている例も多くあり、それをお手本に地域資源を多く持つ淡路地域が元気になるようサポートしていきたいと思っています。

地域の実情は色々で課題も違いますが、共に勉強をしながらコミュニティ・ビジネスを実現させたいと思っています。



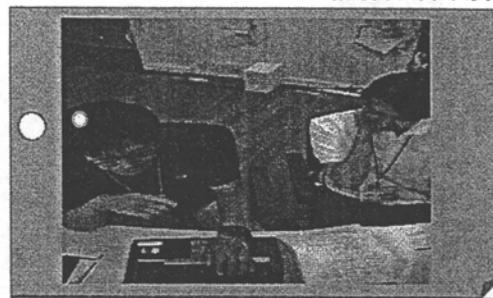
指導員：原田 至康さん

淡路地域を元気にするお手伝いが出来れば嬉しく思います。



指導員：西岡 久美子さん

CBに関心を持ち、日々勉強しながら頑張っています！  
CBにより淡路地域を盛り上げたいという意気込みが伝わってきます。



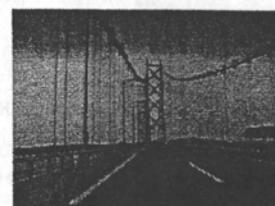
日々、勉強です。

今後の姿と  
課題

○現在はそれぞれの地域の課題や活動状況の情報収集に努めていますが、課題に対する解決手法を地域の方々と相談しながら、法人設立や事業運営、広報等についての支援を展開していきたいと考えています。

○淡路で生まれたコミュニティ・ビジネスが淡路とその他の地域を繋ぐ架け橋になることを期待しています。

特定非営利活動法人シーズ加古川 柏木さん



明石海峡大橋

事例紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業  
【スポーツ分野】

子どもから高齢者まで幅広い対象のスポーツ教室を実施し、多くの県民にスポーツに親しむ機会を提供しています。

本事業が地域雇用の創出につながるとともに、県民の体力向上や健康増進に寄与することを期待しています。



財団法人鳥取県体育協会  
会長 田淵康允さん

事業概要	競技者や指導者として豊富な経験を有する者をスポーツ指導員として雇用し、スポーツ教室の企画・立案、ジュニア選手の指導等、鳥取県におけるスポーツの普及・発展及び競技力の向上を図る。		
委託先	財団法人鳥取県体育協会	新たな雇用創出数	3人
事業費	10,988千円(平成21年度)	事業の開始	平成21年4月～

鳥取県



地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)

業務内容	<p>ココ・コーラウエストスポーツパーク内のトレーニングルーム利用者への指導や地域に出向いての外部指導</p> <p>スポーツ教室(サッカー、ホッケー、ニュースポーツなど)の企画・運営</p> <p>スポーツに関する広報を行うとともに、スポーツ相談コーナーに寄せられた一般の方からの問い合わせに対応</p>
------	---



《ポルト選手などジャマイカ陸上チームも合宿を行った「ココ・コーラウエストスポーツパーク」》

新規スポーツ指導員  
のみなさん

私たち3名の指導員は、ひとりでも多くの県民の皆様には運動する楽しさや爽快感を体験していただくために、スポーツ教室の指導や広報活動に励んでいます。

スポーツの指導に大変やりがいを感じています。



体育指導員 市村恒久さん

スポーツに親しめる環境づくりに励んでいます。



体育指導員 細田謙治さん

スポーツすることの楽しさを伝えることにやりがいを感じています。



体育指導員 齋藤綾美さん

お客様からの声

新しい指導員の方と楽しく汗を流しています。これからもスポーツ教室がますます充実することを期待しています。

子どもがスポーツ教室のある日を楽しみにしています。

私たちの地域にも指導者が来てくれてうれしいです。

今後の姿と課題

多目的の教室を実施していますが、多様なニーズに応えるために、教室の見直しや内容の充実を図っていきたく考えています。



《 サッカー指導中 》

3名の体育指導員の特性に合わせたスポーツ教室を実施し、より多くの県民の方にスポーツに接するきっかけ作りを提供したいと考えています。



財団法人鳥取県体育協会  
事務局長 飯塚雅夫さん

事例紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業  
【産業振興分野】

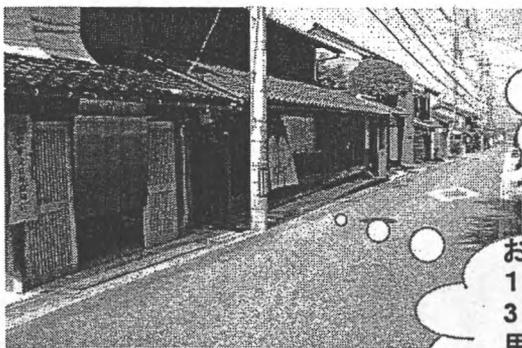
近年、関西圏や首都圏などの都市部に住んでいる人々を中心に、田舎暮らしやUJターンを希望する人が増えています。鳥取市では、全市あげて、特に若者や団塊の世代を中心に帰鳥・移住、UJターンを促進しています。行政機関の支援制度や住宅・就業・生活に関する情報を総合的に提供するとともに、各種相談をお受けしています。



鳥取市企画推進部  
企画調整課地域振興室  
宮本 健さん

事業概要	鳥取市へのUJターン者や、二地域居住者がスムーズに定住等していたできるように企画・運営・サポートを実施し、移住定住、二地域居住などの促進につなげる。		<p>鳥取市</p> <p>地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)</p> <table border="1"> <tr> <td>鳥取県</td> <td>0.46倍(季節調整値)</td> </tr> <tr> <td>鳥取管内</td> <td>0.37倍(原数値)</td> </tr> </table>	鳥取県	0.46倍(季節調整値)	鳥取管内	0.37倍(原数値)
鳥取県	0.46倍(季節調整値)						
鳥取管内	0.37倍(原数値)						
委託先	(財)鳥取開発公社	新たな雇用創出数	4人				
事業費	9,972千円(平成21年度)	事業の開始	平成21年5月～				
業務内容	①市内移住定住・二地域居住希望者への相談対応業務		②県・市職員・(財)ふるさと鳥取県定住機構職員等からの相談窓口調整業務				
	③移住定住・二地域居住につながる各種補助事業の活用説明と各種補助		④移住定住・二地域居住に係る先進事例等の情報収集並びに県、市、関係団体等への情報提供				
	⑤県内外での移住定住・二地域居住に係るイベント等への参加及び情報提供		⑥「木造住宅モデル普及事業」の展示ハウス・宿泊体験ハウスの管理運営				

一口に移住定住、二地域居住といっても様々なケースが考えられるので大変です。まず、鳥取市を知ってもらう参加型の様々な体験メニューを旧鳥取市域、また新たな新市域(国府・福部・河原・用瀬・佐治・鹿野・気高・青谷)で展開。おためし宿泊体験施設もあります。(ホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp/>)



風情のある城下町 鹿野町のお試し体験施設

鳥取の良さをいろいろな角度から知ってほしいです。魅力一杯ですよ。

お試し体験施設の利用料は、1日1組1,000円です。最短3日から最長2カ月までご利用可能です。(鹿野町・佐治町に各1棟)



移住定住推進員 宮路幸雄さん



佐治町 山玉滝

お客さまからの声

鳥取市相談支援窓口におられる方々の対応は、相談者の立場で親身になって話を聞いて頂けるのでとても感謝しています。又、定住後も継続して相談できるのがありがたいですね。

今後の姿と課題

どんな場面であっても、お客様のニーズに合わせた対応ができるようになることが大切。そのためにも、スキルの向上が必要です。また受け入れ側の方々の協力が大切であり、つながりを密にしていきたいです。  
〔移住定住推進員 宮路幸雄さん〕